

Production
e-time!

ロングライフ・ウェブサイト・ファクトリー

ウェブサイトは、 ロングライフをあたりまえに。

シータイムは、安心して使えるウェブサイトをつくり続ける、
ロングライフ・ウェブサイト・ファクトリーです。

「成果を出すには公開してからが本番」と考え、
公開後のあらゆる変化に対応できて、しっかり安定して動いて、
リーズナブルに持ち続けられるウェブサイトを制作します。



ロングライフの基準

ぜんぶ満たすのは意外と難しい。
ロングライフに必要な、3つのポイント。

コンテンツや見た目を
変えやすいこと

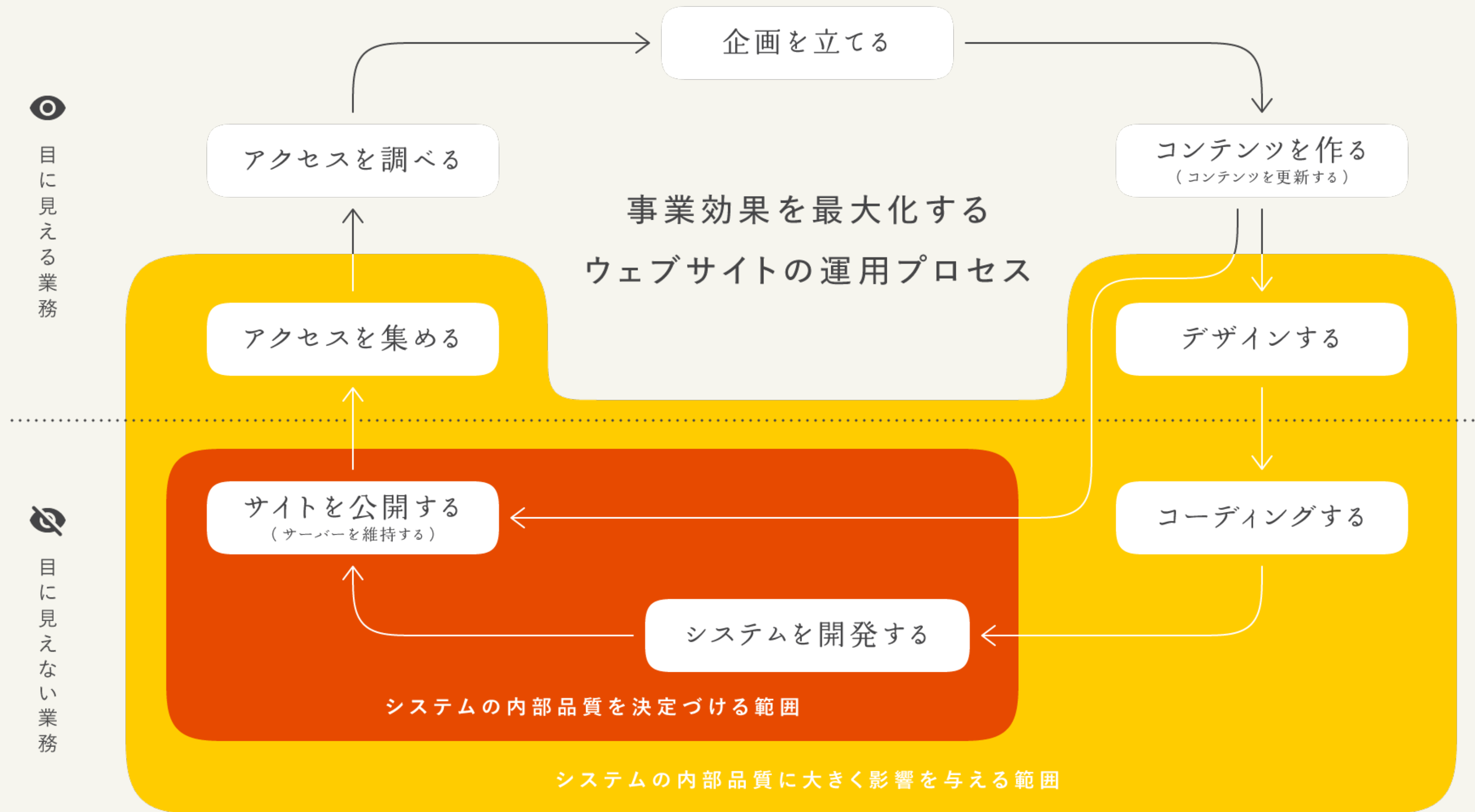
ウェブサイトと管理画面が
壊れないこと

手ごろなコストで
持ち続けられること

内部品質の重要性

目には見えないところに、ロングライフの秘訣があります。

ウェブサイトで成果を得るためには、コツコツと改善を繰り返していく必要があります。そのためには、サイトの変更しやすさ、柔軟性がとても大切になります。将来の大きな方針転換までも見越して、修正・変更しやすいように、見えない部分の品質が高いウェブサイトを持つことがとても大切です。



よくあるトラブル

公開後によくある、ウェブサイトの困りごと。



テレビで紹介されて喜んでいたら、
ウェブサイトには503としか
表示されない。
サーバーあるある



ウェブサイトに意味不明の
文字列があらわれた。
壊れるあるある



管理画面への不正アクセスで
ウェブサイトが壊された。
セキュリティーあるある



制作会社に連絡したら、
担当者が辞めたのでわからないと言われた。
制作会社あるある



これまでに書きためたコンテンツを、
リニューアルしたウェブサイトに移行
できなかった。
CMSあるある



半年前のバックアップが
もう残っていない。
壊れるあるある



お問い合わせから
スパムメールがたくさん届く。
セキュリティーあるある



WordPressにプラグインを入れたら、
管理画面がまっ白になった。
削除もできない。
壊れるあるある



見積もりが大雑把で、
何にお金がかかっているのか
わからない。
制作・維持費あるある



CMSで変更できるところ以外に
手を加えたいのだけど、
むずかしいのだろうか。
制作・維持費あるある



ウェブサイトにアクセスすると、
保護されていない通信と表示される。
セキュリティーあるある



CMSにいっぱい機能を入れたのに、
使いはじめるとムダな機能ばかり。
制作・維持費あるある

安心して使えるウェブサイトをつくるために。

1



計画する

はじめに考えるべきはコンテンツです。ビジュアルや機能が気になるところをグッと我慢して。まずはウェブサイトを訪れるお客さまに、どんな情報をお届けするかを考えましょう。

2



設計する

ウェブサイト制作において、高い費用対効果を実現するためにもっとも大切なのは、設計です。設計次第で、得られる成果はもちろんのこと、制作や運用にかかる費用が大きく変わってきます。

3



デザインする

設計をもとに、ウェブサイトのビジュアルを制作します。お客さまにメッセージが正しく伝わり、更新しやすく実装コストにも考慮した、機能的な美しさを備えたウェブデザインです。

4



構築する

ウェブサイトは、時代や世の中の変化にあわせて更新するものです。ビジュアルや機能と同じくらい、見えない部分に気を使いましょう。頑丈で安全な基礎と構造こそが、柔軟な運用を成功させるカギとなります。

5



運用する

私たちの技術力がおよぶ範囲で、ウェブサイトに関するあらゆることをご相談いただけます。ウェブサイトを一緒に育てるパートナーとして、やりたい施策がすばやく実行できる環境づくりをサポートします。

仮契約

（概算のお見積り）

計画にもとづいて、ウェブサイト制作の概算見積書を作成します。お見積り金額に問題がなければ、仮契約を結びます。この時点で設計費用のお支払いをお願いします。

本契約

（詳細のお見積り）

設計後に、ウェブサイト制作にかかる全体費用の詳細見積書を作成します。お見積り金額に問題がなければ本契約を結び、ウェブサイトのデザインと構築を進めます。

ウェブサイト公開

ウェブサイトの公開をもってプロジェクトは完了です。残りの制作費のお支払いをお願いします。公開後は運用プランに応じて、運用費が発生します。

実績

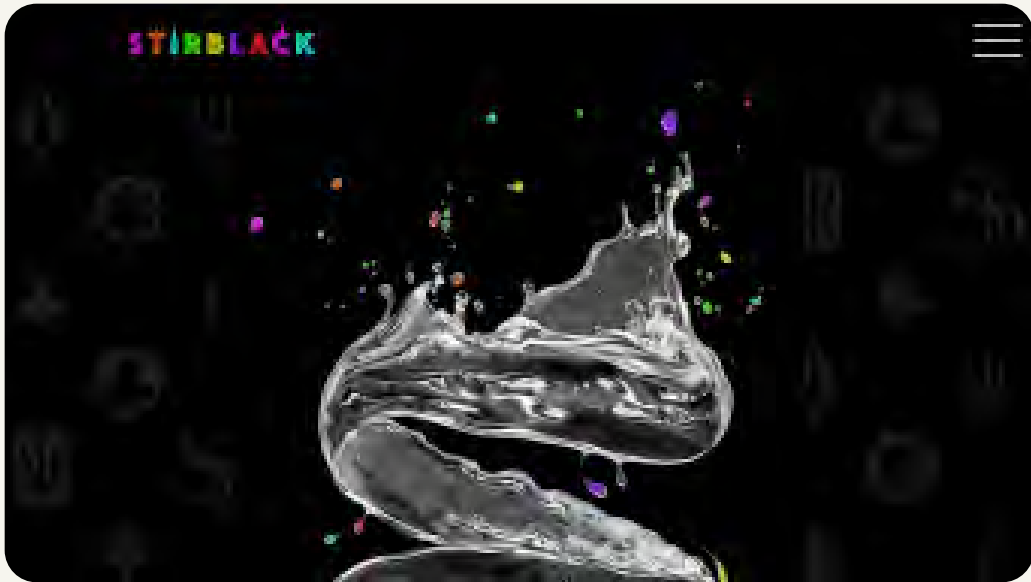
私たちが手がけた、
ロングライフ・ウェブサイト。



株式会社 感動ハウス
コーポレートサイト



株式会社 リントゥ
オフィシャルサイト



株式会社 GALT POP
オフィシャルサイト



株式会社 SoLabo
メディアサイト



山下 美樹
オフィシャルサイト



株式会社 ピリカ
コーポレートサイト

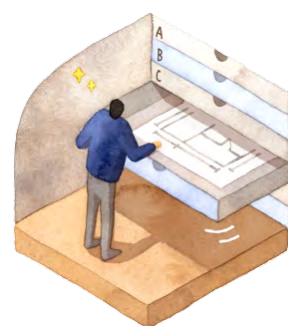


みらいまち薬局
コーポレートサイト



薪屋「力蔵」
コーポレートサイト

ウェブサイトは公開してからが本番です。
制作だけでなく、運用もしっかりサポートします。



テンプレートプラン

あらかじめ用意された豊富な種類のテンプレートを使って、ウェブサイトを作成します。

デザインの自由度

業種別のテンプレートを使ったレイアウト
オリジナルのビジュアル

納期

1日～10日

目的

名刺代わりに使いたい
とにかく早くウェブサイトがほしい

予算感

6万円 — 30万円



セミオーダープラン

テンプレートにすこし手を加えることで、ご要望の構成やデザインのウェブサイトを作成します。

デザインの自由度

共通パーツを組みかえたレイアウト
オリジナルのビジュアル

納期

2週間～3か月

目的

ビジネスの集客に使いたい
自社の特徴をアピールしたい

予算感

20万円 — 80万円



フルオーダープラン

ご要望に合わせて、企画から設計、デザインに構築まで、オーダーメイドのウェブサイトを作成します。

デザインの自由度

オリジナルのレイアウト
オリジナルのビジュアル

納期

2か月～6か月

目的

他者と差別化したい
ウェブサイトを通じて大きな成果をあげたい

予算感

60万円 — 200万円

ウェブサイトは公開してからが本番です。
制作だけでなく、運用もしっかりサポートします。



スタンダードプラン

はじめてのお客様向けのプランです。サーバーの維持費用だけでなく、常時SSL対応、セキュリティ対策、システムメンテナンス、バックアップ取得までウェブサイトの運用に必要な要素がすべて含まれています。

※ドメインのみ別料金

サポート時間

12時間分の作業時間／年

通信料

600GBまで

月間のアクセス数が30,000PVほど

価格

年額 **60,000** 円



ミニマムプラン

アクセス規模も小さく、とにかく費用を抑えたいお客さまや、1年目で運用のペースがつかめたので、もうサポートは不要というお客さま向けのプランです。

※2年目以降のお客様のみのみ

サポート時間

なし

通信料

60GBまで

月間のアクセス数が3,000PVほど

価格

年額 **6,000** 円

サービス | ウェブ運用サービス（オプション）

ウェブサイトは公開してからが本番です。
制作だけでなく、運用もしっかりサポートします。

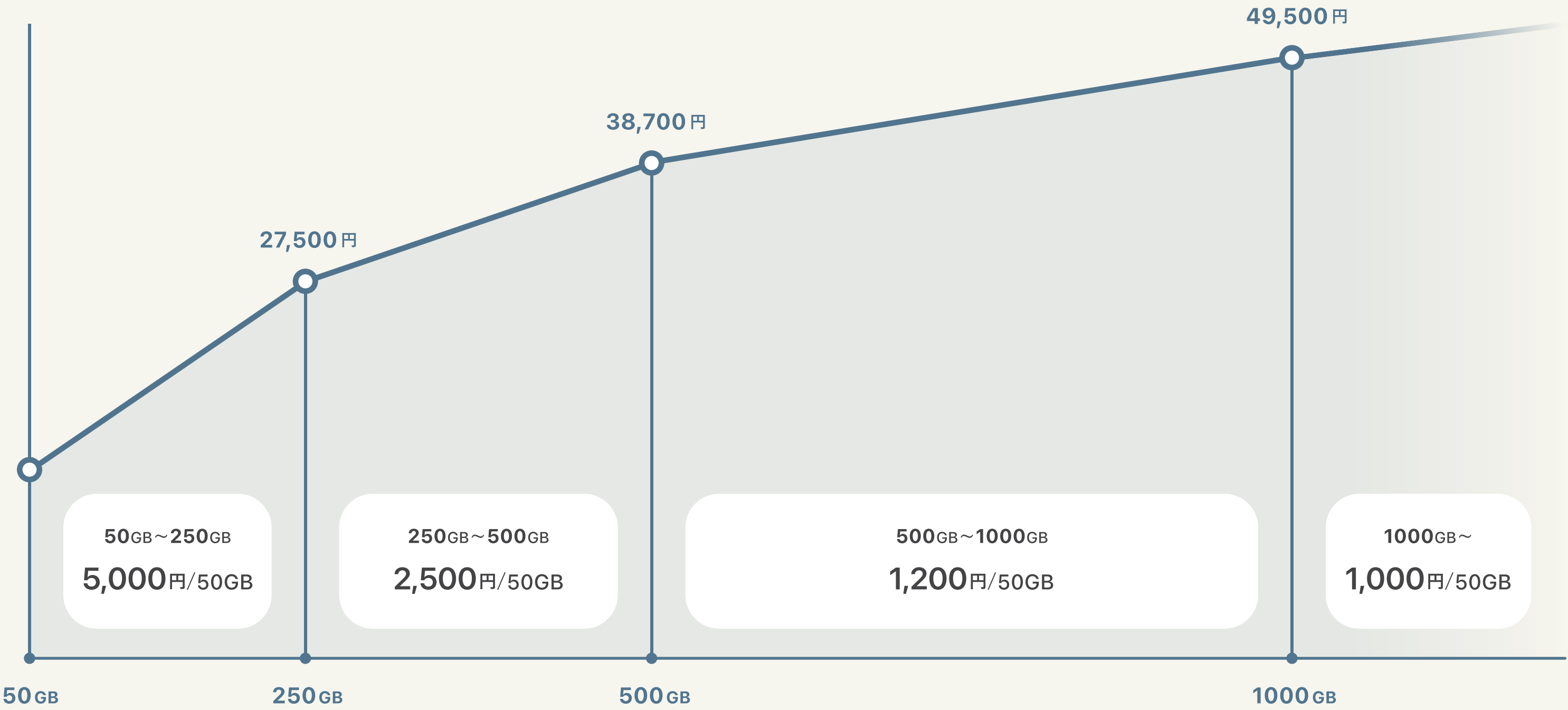
追加サポートチケット

8時間分の作業時間／月

テンプレートプラン&セミオーダープラン向け	30,000 円
フルオーダープラン向け	60,000 円

追加通信料

50GB単位／月



C-TIMEが目指すところ。

中小企業のウェブサイトの事業効果を最大化する。

ウェブサイト制作の生産性を高め、より安価に高品質なウェブサイトを提供します。

それだけでなく、公開後の運用、仕様変更や改善修正にも、柔軟かつ低コストに対応できる仕組みを構築します。

多様な人材が幸せに働ける場を提供する。

多様な人材を採用し、それぞれが幸せに生きられる場の提供をおこないます。

社会に対する貢献を実感しながら、個人の特徴を活かして、創造的に働く機会を創出します。

会社概要

私たちは、安心して使えるウェブサイトをつくり続ける、
ロングライフ・ウェブサイト・ファクトリーです。

会社名	株式会社 PRODUCTION C-TIME
代表者	瀬戸 晴生
事業内容	- ウェブサイト、ウェブコンテンツ、デジタルコンテンツ企画、制作、販売及び提供 - コンピュータシステム、コンピュータソフトウェア、コンピュータハードウェアの企画、開発、設計、販売、賃貸、保守 - インターネット、その他通信を利用した通信販売業 - CD、ビデオ、DVD等の映像、音声ソフトの企画、制作及び販売 - 各種グッズの企画、制作及び販売 - 前各号に付帯関連する一切の業務

サービス	- ウェブサイト制作 - ウェブアプリ開発 - デスクトップアプリ開発（Windows／macOS） - モバイルアプリ開発（iOS／Android）
所在地	〒256-0812 神奈川県小田原市国府津2521-1 飯塚商事ビル 3-B
設立	2006年6月20日

Production
e-time!

Appendix

コラム

ロングライフ・ウェブサイトは、あたりまえに壊れない。



ウェブサイトはなぜ壊れるのか？

ウェブサイトが”壊れる”とはどういうことでしょうか？

- 表示されなくなる
- デザインが崩れる
- エラーが表示される

などなど、もともとはちゃんと表示されていたものが、なんだかおかしくなってしまうことがあります。だれも、自分の会社の顔であるウェブサイトが壊れてほしくなんてありません。こわれたウェブサイトをたまたま見かけた未来のお客様から、知らないあいだに信頼を失ってしまうかもしれません。

では、なぜウェブサイトは壊れてしまうのでしょうか？

原因はおおきくわけて3つあります。ここではまずウェブサイトが壊れる理由をみていくことにしましょう。

なにか変更をしたときに壊れる

Google社の調査によると、「**システムの故障の原因の約70%が何かを変更したことによるもの**」ということです。（参考：Google SRE book）

何かを修正したり、変更したりすると、壊れてしまう可能性が高くなります。

記事を書いたり、リンクを変更したり、ボタンを追加したり、色を変えたり、画像を差し替えたり、ウェブサイトはどんどん更新をしていくものです。そのたびに、意図していないことがおこらないように注意しながら更新しなければなりません。

急にアクセスがふえたときに壊れる

ウェブサイトの利点は多くの人に見てもらえることができるということですが、**同時に**
見ることができる人の数には限りがあります。

たとえば、ラジオの放送などで、あなたの商品が紹介されたとしましょう。そうすると日本中の多くの人があなたの会社名を検索し、同時に訪れます。

そのときに十分に強いサーバーを使っていないと、ウェブサイトの表示がとてつもなく遅くなったり、エラーがでて表示されなくなったりします。**せっかく興味をもってウェブサイトに来てくれたお客様をみすみすのがしてしまうことになるのです。**

ウェブサイトを作るときには、あなたのウェブサイトと同時に訪れるであろう人の人数を想像して、**それに見合ったサーバーを選ばないといけません。**

ハッカーに攻撃されたときに壊れる

近年、ハッカーによるサイバー攻撃は、どんどん高度になり、また数も増加しています。JPCERT/CC インシデント報告対応レポートによれば、2021年7月～9月の間に報告されただけで579サイトが改ざんの被害にあっています。そしてそれは、4月～6月期に比べて2倍以上に増加しています。誰か知らない人に勝手に自分のウェブサイトを書き換えられるということです。

壊れないウェブサイトにするために

壊れないウェブサイトにするためには、これら三つの原因に対して、しっかりと対策をすることが大切です。**壊れないことはあたりまえではないのです。**

C-TIMEでは、これら3つの原因を取り除くために**C-time Cloud CMS**（略してC3）を開発しました。C-TIMEがお届けするロングライフ・ウェブサイトは、C3を利用して作られています。

そのおかげで、

- **変更するまえに細かくチェックできる**（プレビュー機能、変更差分確認機能）

コラム

ロングライフ・ウェブサイトは、あたりまえに壊れない。

- ・ 万が一壊れてもすぐに元通りにできる（完全バックアップ・復元機能）
- ・ 急に負荷が増えても表示が遅くならない、止まらない（CDNを利用した堅牢なホスティング）
- ・ ハッカーからの攻撃に強い（静的サイト生成型のCMS）

といった特徴を持っています。

C-TIMEは15年以上にわたって大小様々なプロジェクトに関わってきましたので、たくさんの事故、事件を目にしてきました。ですが、今振り返ってみても、それら**すべての事故はもしC3があれば未然に防げたものだったと確信しています。**

すべての人が安心してつかえる、あたりまえに壊れない、ロングライフ・ウェブサイトを、C-TIMEは作り続けます。

コラム

ロングライフ・ウェブサイトは、あたりまえに変更しやすい。



ウェブサイトが変更しやすいとはどういうことか？

ウェブサイトを制作する目的はひとによっていろいろありますが、その目的がなんであれ、ウェブサイトは情報を発信するための手段です。ウェブサイトを訪れるお客様が知りたいと思う情報が書かれているかということがもっとも大切なことです。

たとえば飲食店のウェブサイトであれば、「どんな雰囲気なんだろう？」「メニューは？」「子供を連れて行っても大丈夫？」「営業時間は？」などの情報を求めてお客様はウェブサイトを訪れます。こういうお客様が知りたい情報をしっかりと発信していくことがウェブサイト運営の最初の一步です。

しかし、当然のことながら、状況はだんだん変化します。たとえば飲食店の例では、

定休日が変わったり、営業時間が変わったり、メニューが変わったりといった変更があります。

ほかにも、例えば内装を改装して雰囲気が変わった、新しくテイクアウトサービスを始めたなど、事業を営む上でのとても重要な変更も起こります。

そんなとき、**ウェブサイトの情報やデザインを、そのときの状況にあわせてタイムリーに変更できることが、とても大切になってきます。**そんなウェブサイトを実現するための3つのポイントを見てみましょう。

よく変更される情報がシステムでタイムリーに更新できること

たとえば、個人の飲食店であれば、店主が病気になったら臨時休業しなければなりません。営業時間の変更や、メニューの変更なども頻繁にあるかもしれません。

このように、良く変更される情報は、システムで更新できるようにしておくことが大切です。制作会社に頼まなくても、すぐに更新できるというスピードが大切ですし、もちろん変更回数が多いと、制作会社に支払う手数料もかさんできてしまいます。

良く変更する情報はどれなのかを見極めて、その情報が更新しやすいシステムを持つ必要があります。



「何でも自由に更新できるようにしたい」というシステムの要望をしてはいけません。システムはあくまで、良く繰り返す作業を効率的にするもので、1年に一回しか使わない機能を導入しても、絶対に投資は回収できません。詳しくはコラム「ロングライフ・ウェブサイトは、あたりまえにリーズナブル」を参照してください。

大きな変更があっても簡単に治せること

よく変更されるコンテンツの他にも、ウェブサイトを更新したくなることがあります。

たとえば、あなたは飲食店の経営者で、あたらしくテイクアウトを始めたので、テイクアウト専用のメニューページを作りたくなったとします。多くのお客様に気づいてもらうために、目立つ場所にバナーをはってお知らせする、という変更も加えたくもなるでしょう。

このような大きな仕様変更をしたいときは、制作会社などの専門家の手を借りて行うのが最適です。制作会社をお願いをすると、その修正にどれぐらいの時間がかかるのかによって、かかるコストが変わってきます。ですので、このような大きな変更を見越して、**将来の修正が簡単にできるように制作することは制作会社の重要なスキルのひとつです。**

コラム

ロングライフ・ウェブサイトは、あたりまえに変更しやすい。

ポイントは**複雑なシステムを導入しない**ということです。世の中では、WordPressをカスタマイズして制作されているウェブサイトが多数存在しますが、そういったサイトは制作会社でも仕様変更をすることが困難になってきます。実際に「昔の仕様がわからないので作り直したほうが早いし安い」というようなことを言われてしまう方が後を立ちません。

将来何がおこるかは予想できないものですが「何があったとしても、なんとかなる」ようにしておくことはとても大切です。

変更をできる人がすぐみつかること

ウェブサイトを思ったとおりに変更できなくなる原因としてよくあるのが「変更できる人がいなくなること」です。制作を担当した人が、制作会社を退職してしまって今の仕様がわからなくなってしまい、というようなケースです。

昨今は空前のエンジニア不足で、とくに、ウェブ制作業界においては、ウェブシステムの構築や運用に関わるエンジニアの数も質も全く足りていません。開発だけでなく、トラブル対応はできない、プラグインのインストールはできるが不具合があっても修正はできない、というレベルの見習いエンジニアが見様見真似で開発しているという状況が多々あります。

そういったエンジニア不足の状況下において、ウェブサイトに複雑なシステムを絡めてしまうと、変更しようにもできる人が確保できず、何ヶ月も待たないといけないうえに、お金もたくさんかかる、最悪の場合、対応できないと言われてしまうということとさえ起こってしまいます。事実、「WordPressで構築されたサイトのトラブルを

前の制作会社が解消できなかった」という相談が毎月何件も当社によせられています。

一方で、制作会社自体は星の数ほどあることからわかるように、エンジニア以外の人材は豊富にいます。逆に言えば、**このような仕様変更が必要になった場合に、システムエンジニアがいなくても実現できる状態**にしておけば、頼める会社は豊富にあるということです。

軽視されがちなポイントですが、できる人を確保するということは、ながくウェブサイトを運用していくうえではとても大切なことなのです。

あたりまえに変更しやすいウェブサイトにするために

「**毎日の更新が簡単**」「**大きな仕様変更に対応できる**」「**人材をすぐ確保できる**」といったことを同時に叶えるのは実はとても難しい。そのため、ウェブサイトに変更が必要になったとき、思ったとおりに変更できるということは、実は、あたりまえではない業界の現実があります。

C-TIMEは、これら三つを同時に叶えるために、深く考え抜き「C-time Cloud CMS」を開発しました。C-TIMEでは実際にこのシステムを使用して日々制作案件に従事していますが、そのおかげで、制作中、公開後にかかわらず、お客様からのご要望には柔軟に応えることができるようになりましたし、人材不足の問題も解消されました。

ウェブサイトは公開してからが本番。成果をあげるには、お客様の声を聞き、徐々に変更、改善を積み重ねていくというあたりまえの努力が大切です。C-TIMEは「あたりまえに変更しやすい」いつまでも使い続けられるロングライフ・ウェブサイトを提供し、みなさまのウェブサイト運用をサポートします。

コラム

ロングライフ・ウェブサイトは、あたりまえにリーズナブル。



ウェブサイトにかかわるお金の話

誰だってかしこい買い物がしたいと思います。できるだけ安く、できるだけ良いものを。ウェブサイトを買うときも同じです。

そのためには、何にお金がかかるのかをしっかりと理解しなければなりません。この記事ではウェブサイトに関わる費用のあれこれを説明したいと思います。

ウェブサイトには大きくわけて3つの費用が必ずかかると思ってください。

- 制作する費用
- 公開/維持する費用

- メンテナンスする費用

この他にも、広告費用などがありますが、これはかけてもかけなくても良い費用なので今回は触れません。

これら3つの費用について、それぞれどういうものなのかを見ていってみましょう。

制作する費用

その名の通り、ウェブサイトを作成するための費用です。企画をしたり、デザインを作ったり、コーディングしたり、システムを作ったりといった作業にかかる人件費だと思ってください。

「働く人の時給 × 働く時間」で費用が決まります。

とても有名なデザイナーさんにデザインを制作してもらうとなると、その人の時給は高いので、仮に1日程度でさっと仕上げたようなデザインでも、何十万円もしたりします。逆に、まだデザイナーになりたての時給1,000円の新人が担当すると、100時間かけてもまだ10万円です。

そして、仮に両者の費用総額が同じ10万円だったとしても、時給1,000円で100時間かけて作るプランと、時給10,000円で10時間かけて作るプランであれば、後者のほうがクオリティーが高いものができる場合がほとんどです。

予算総額だけでなく、その内訳を気にすることで、その会社がどういうクオリティーのサービスを販売しようとしているのかが見えてきます。そういった観点と、自分の

ニーズを照らし合わせて、誰に作ってもらうかを定めることがとても大切です。

公開/維持する費用

ウェブサイトを多くの人に見てもらうようにするためには、サーバーを持つ必要があります。また、ドメインも購入しないといけません。最近ですと、通信の暗号化は絶対に必要なので、SSL/TLS 証明書も用意する必要がありますドメイン、証明書は無料のもの（当社では無料で提供しています）もありますし、1年あたり数千円のものから高いものだとな万円を超えるものもありますが、ほとんどのケースでは無料、もしくは年間1万円以下のもので十分でしょう。

一番お金がかかるのはサーバー費用です。このサーバーは、高スペックなものほど高額になります。高額なサーバーほど、同時にウェブサイトを見ることができるお客様の数が増えると思ってください。

例えば、あなたのウェブサイトが通勤時間中の朝に一番見られるサイトだったとします。その時何人の人が同時にあなたのサイトにアクセスするかを予想して、サーバーのスペックを決めます。

安いものでは月額が数百円から、高いものでは数十万円、数百万円になるケースもありますが、一般的には月額2,000円～10,000円程度のサーバーを提案する制作会社が多いように感じます。

コラム

ロングライフ・ウェブサイトは、あたりまえにリーズナブル。

メンテナンスする費用

ウェブサイトにはメンテナンスは必要です。信じられないかもしれませんが、ウェブサイトは、時がたつにつれて劣化します。

ブラウザの進化、検索エンジンの進化、ディスプレイの多様化、ウェブサイトの作り方の変化などなど、ウェブサイトを取り巻く環境、インターネットの世界は常に進化を続けています。メンテナンスを放棄すると、取り残されてしまいます。きちんと成果をあげつつけるためには、少しずつでも時代のニーズを汲み取りつつウェブサイトも進化し続けることが大切です。

また、ウェブサイトを進化させるつもりがない場合、ただ単にウェブサイトをそのまま表示させつつけるだけでも手間がかかるということをぜひ知っておいてください。数年に一度、SSL/TLS証明書を更新したり、サーバーが故障したときに新しいサーバーへ移動したり、故障したときのために日々バックアップを取ったりと、安全にウェブサイトを運用するには様々な努力をする必要があります。また、ひとたびトラブルが発生すると、きちんとした知識、技術、経験をもっている人に対応をしてもらわないと解決できない場合も多いです。

これらの改善や修理のために必要なのはやはり人件費です。修理をしてくれる人の「時給×時間」が費用になるのですが、多くのケースではマンションの管理費や、修繕積立金のように、月額固定の費用となっていることが多いです。

固定費の増加に見えてしまうこと、普段、何をやっているのか分かりづらいことなどがあり、なかなかお客様にご納得いただくのが難しいことがあります。メンテナンス

費用は絶対に必要な費用だということは知っておいてください。

あたりまえにリーズナブルなウェブサイト を制作するために

C-TIMEは、これらの3つの費用をいかに抑えたサービスを提供するかという挑戦をつづけてきました。しかし、安価なサービスを提供するにしても、スタッフの時給を削るやり方をすると高いクオリティーのサービス提供はできません。わたしたちは、効率的に制作し、維持費をさげ、メンテナンスも効率的にできるようになるにはどうすればいいか、という課題に真正面から取り組んできました。

そのために、持ち前の技術力を活かして、C-time Cloud CMSを開発し、まず維持費とメンテナンス費用を劇的に低減させることに成功しました。さらに、制作プロセスを徹底的に見直し、つねに新しい手法に挑戦しながら、デザイン制作からコーディングまで、プロセス全体の最適化をすすめてきました。

実は、いまC-TIMEがやっていることは、ウェブ制作業界の外では、”あたりまえにやられていること”の詰め合わせです。クラウドを活用する、バージョン管理をする、データを安全に保存する、セキュリティを担保するなど、C-TIMEはただ単に王道を進んでいるだけにすぎません。しかしながら、残念なことにウェブ制作業界にはそういうあたりまえのことを実現する方法を知っている人、技術を持っている人が多くはありません。

コラム

ウェブサイトはコンテンツありきで考えよう。



見た目より中身を先に考える

ウェブサイトを訪れるお客様は、なにかを知りたいと思ってあなたのサイトを訪れます。ウェブサイトはそういったお客様に対して情報を提供するための道具です。

「明るい雰囲気にしたい」「シンプルなデザインにしたい」などの要望を最初に受けることが多いのですが、少しだけ立ち止まって考えてみてください。それは制作をする側の好みで、ウェブサイトを訪れるお客様が求めていることでしょうか。

ほとんどのウェブサイトにとって、最も重要なことは「知りたいことがわかりやすく書いてあること、見つけやすいこと」だとC-TIMEは考えています。見た目より中身です。

ウェブサイトの中身であるコンテンツを考えるにあたって大切な観点が2つあります。

お客様は誰で、何を知りたがっているのか
コンテンツをどのようにつくるのか

これら2つのことをウェブサイト制作のはじめに考えていくことがとても重要です。

コンテンツはどうやってつくるのか

どういうコンテンツを提供すればお客様に喜んでいただけるかを考え、コンテンツをリストアップした次に考えることは、そのコンテンツをどうやって作るかです。

「お知らせ」は誰が書くのか、どれぐらい頻繁に更新するのか？

写真は誰が用意するのか？

イラストは誰が描く？

サービス説明やキャッチコピーは、自分で書くのか外注するのか？

コンテンツを作るのにも、スキルや時間、外注するならお金がかかります。

限られた予算や時間のなかで、コンテンツは作成していく必要がありますので、優先順位を考えてメリハリをつけていかないとはいけません。例えば、「会社概要はそこまで重要じゃないので、自分でささっと書いてしまうが、トップページのキャッチコピーは、プロに依頼する」「お知らせの更新のためにはシステムを開発するが、会社

情報はシステムで更新できなくてもいい」といった具合です。

かけられる予算、自分が持っているスキル、かけられる時間などを総合的に考えて、現実的な落とし所を探しましょう。

コンテンツファーストでお客様に喜ばれる ウェブサイトを

ウェブサイトを訪れたお客様に喜んでいただくために何よりも大切なのが、コンテンツです。しかし、コンテンツを用意するのは想像以上に骨が折れる作業です。とても大切で、そして大変な作業だからこそ、後回しにせず、最初にしっかりと考えておく。C-TIMEではそんなコンテンツファーストなウェブサイト制作をおすすめしています。

また、C-TIMEが提供する「C-time Cloud CMS」はそんなコンテンツファーストで設計されたウェブサイトを、簡単にシステム化できるよう設計・開発されています。システムの都合を考える必要なく、お客様視点に集中し、自由にコンテンツを設計していただけるのもC-TIMEのウェブ制作サービスの特徴です。

C-TIMEは、みなさまと一緒にあって、訪れたお客様に喜んでもらえるウェブサイトを制作していきます。

コラム

高い費用対効果はすぐれた設計から。



ウェブサイト制作成功のカギは設計にあり

訪問者に情報がしっかりと伝わるレイアウト、美しく統一感のあるデザインを実現し、なおかつ、それを限られた予算の中で実現していくためには、設計の工程がとても重要になります。

ポスターやチラシのように限られた固定スペースに情報をならべるものと異なり、ウェブサイトは扱う情報の量が格段に多く、なおかつ、スマートフォンやパソコン、タブレットと表示される画面のサイズもまちまちといった特徴を持っています。情報の整理、レイアウトを上手に行わないと、何がしたいのかよくわからないウェブサイトが出来上がってしまいますし、ウェブサイト全体のデザインに統一感をもたせたり、洗練させていくことも難しくなります。

さらに、ウェブサイト制作が、ポスターやチラシ制作とちがうのは”コーディング”という工程があることです。設計の良し悪しの違いで、コーディング工程にかかる費用が数倍異なることがあります。

設計の良し悪しによって、品質だけでなく、コストまで異なってくるとというのがウェブサイト制作の特徴なのです。

ワイヤーフレームで情報をレイアウトする

C-TIMEではウェブサイト制作をする際にはワイヤーフレームと呼ばれるWEBサイトの設計書を作成しています。これは、このウェブサイトに掲載するコンテンツをどのように配置するかを決める設計書になります。



ワイヤーフレーム作成時には、色使いやイラスト、写真などの見た目に関することはあまり考えず、とにかくまずはコンテンツの並べ方、配置を決めていきます。このときに、スマートフォンでどうレイアウトするのか、タブレットではどうするのかといったことについても検討していきます。

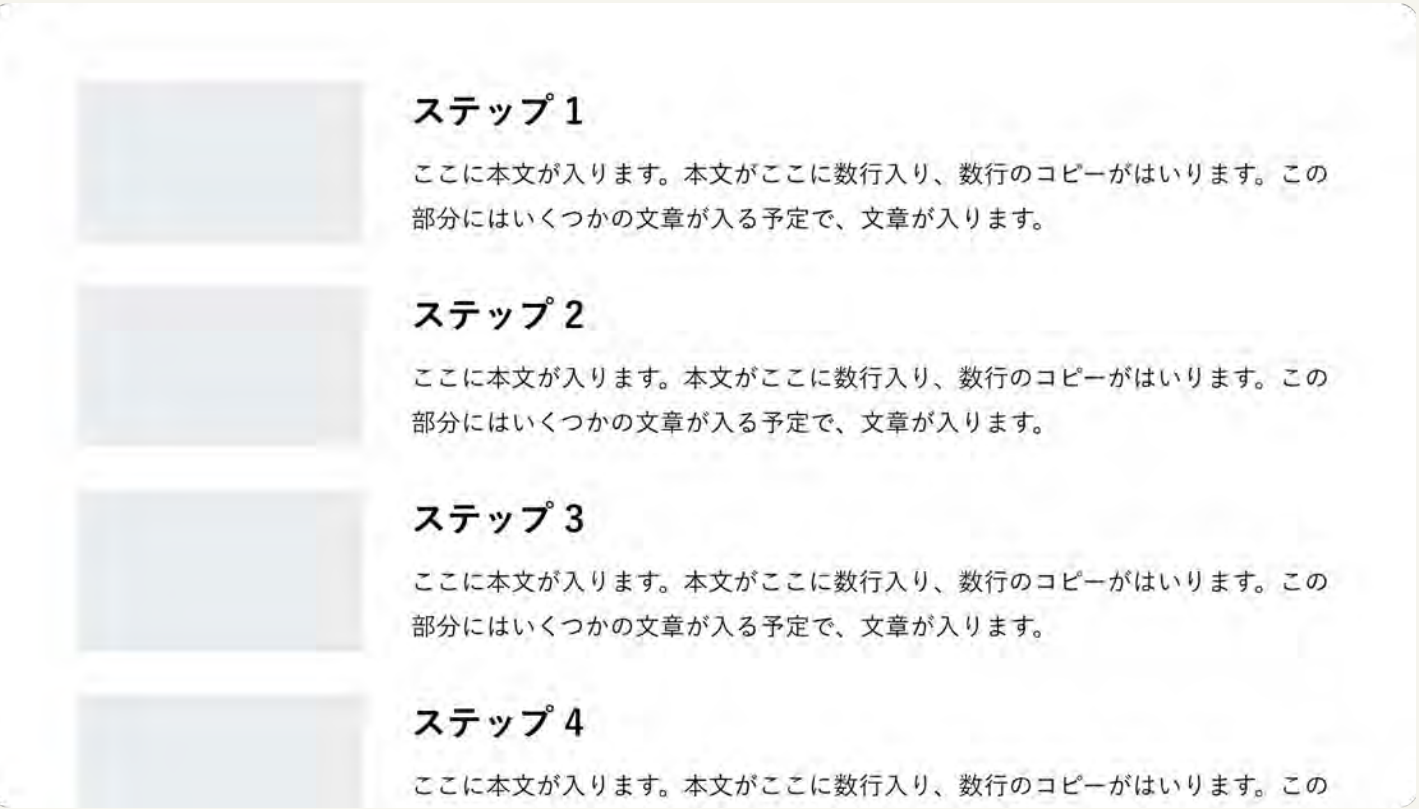
コストをコントロールする工夫

設計を行うことのもう一つの大きな目的は、コストをコントロールすることです。大雑把にいうと、コーディングにかかる費用は、コンテンツの量が増えるほど高額になります。

ですが、これらを抑える工夫はできます。たとえば、レイアウトのパターンを再利用することです。そうすることで、同じHTML/CSSコードをコピー＆ペーストで再利用できるようになるため、コーディングの工数を圧倒的に省略できます。

コラム

高い費用対効果はすぐれた設計から。



よく見かけるウェブサイト制作のお見積り書には「ページ数 × ○○万円」というようなコーディング費用が書かれていますが、実際は、レイアウトのパーツごとに細かく分割し費用計算ができます。設計の工程をきちんとやることで、このあたりのコスト最適化も可能になるのです。

効果とコストのバランスをとるのが設計の役割

よい設計を行うことで、ウェブサイトの品質、期待している効果を高められるだけでなく、この後の工程での、デザイン作業や、コーディング作業を軽くすることができます。

ます。
お金をかければ良いものができるのは当たり前。限られた予算を必要なことに効果的に使うことで最大限の成果を得るために、どこまで何をするのか、どのように作るのかを、一緒にくみ上げていくのがC-TIMEのウェブ制作が提供するサービスです。

コラム

かしこく予算を配分するには。



より良いウェブサイトを、より安くつくるために

ウェブサイト制作を外注するとき、だれだってより安い制作費で、より大きな効果を得たいと思います。ここでは、どうすればコストパフォーマンスの高いウェブサイトが構築できるかを考えてみます。

高いコストパフォーマンスを誇るサイトを実現するためのポイントは3つあると考えています。「効率的な制作手法」「小さく始める」「クラウドのテクノロジー」これらについて説明していきたいと思います。

何にどうコストがかかるかを理解すること

まずは制作費用について考えていきましょう。ここで大切なのは、製作工程でどのような作業があるのかを理解することです。

何に何時間の作業が必要で、その作業の単価はいくらなのかを確認するようにしましょう。C-TIMEでは、作業内容に応じて、作業の単価は「1時間 ○○ 円」という形で決まっています。お見積りの際には、詳細なタスク表をお見せして、こういったタスクが、どういう理由で必要で、それぞれ何時間かかるのかということをご説明しています。

適用 クリア 編集 削除

予定工数: 33.00

☐	#	トラッカー	ステータス	対象バージョン	優先度	題名	担当者	更新日	親チケット	予定工数
☐	91	制作タスクセット	新規	2022年01月リリース	通常	クリエイティブパートナ		2021/11/16 02:28		...
☐	92	タスク	新規	2022年01月リリース	通常	テスト		2021/11/17 11:35	制作タスクセット #91	...
☐	93	タスク	新規	2022年01月リリース	通常	PCコーディング		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #91	...
☐	94	タスク	新規	2022年01月リリース	通常	SPコーディング		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #91	...
☐	95	タスク	新規	2022年01月リリース	通常	CMS設定		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #91	...
☐	96	タスク	新規	2022年01月リリース	通常	コンテンツ制作		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #91	...
☐	97	タスク	新規	2022年01月リリース	通常	デザイン制作		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #91	...
☐	98	タスク	新規	2022年01月リリース	通常	ワイヤーフレーム制作		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #91	...
☐	99	タスク	新規	2022年01月リリース	通常	公開作業		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #91	...
☐	105	タスク	新規	2022年01月リリース	通常	デザイン素材制作		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #91	...
☐	82	制作タスクセット	新規	2021年12月リリース	通常	お知らせ一覧		2021/11/16 02:28		...
☐	83	タスク	新規	2021年12月リリース	通常	テスト		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #82	...
☐	84	タスク	新規	2021年12月リリース	通常	PCコーディング		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #82	...
☐	85	タスク	新規	2021年12月リリース	通常	SPコーディング		2021/11/15 08:08	制作タスクセット #82	...

それを見ながら「デザインにはそんなにこだわらなくていいから工数を減らそう」「コーディングのコストを下げるためにデザインをシンプルにしよう」といった議論

をします。お客様側にも理解を深めていただくことで、建設的に議論をすることができ、それが作業効率を向上させ、コストを抑えた制作に繋がっていきます。

最初からいろいろ盛り込みすぎず小さく始めること

ウェブ制作をするとなると、あれもやりたいこれもやりたいということが出てきて、どれもとても重要なことのように思えてきます。ですが、いまいちど落ち着いて考えてみてください。それは100%絶対に必要だと自信があることですか？

C-TIMEがおすすめるのは「小さく始めて、あとから育てる」ウェブ制作です。ウェブサイトはあとからいくらでも変更できるのです。いちど出してみて、結果をみてから変更するのでも遅くはありません。情報をたくさん集めてから制作したほうが良い成果を出せるに決まっているのです。

小さく始めることには、もう一つメリットがあります。それは、変更が簡単だということです。巨大なサイトになればなるほど、修正することが難しくなってきます。一生懸命、時間と費用をかけて巨大なウェブサイトを作っても、思い通りの成果に繋がらなかったというようなとき、変更するのにも時間や費用が余分にかかってしまうのです。

「敵を知り己を知れば百戦危うからず」です。まずは小さくはじめて情報をあつめて、大きく予算をかけるのはそれからでも遅くはありません。

かしこく予算を配分するには。



WEB制作をされようとしているお客様で、予約システムを作りたい、ECサイトを作りたい、といった要望はよく聞きますが、中小規模の事業者はオリジナルのシステムを開発しても、ほぼ確実に採算がとれません。それぞれの専門のシステムを開発している事業者のサービスを活用しましょう。

クラウドのテクノロジーを活用すること

クラウドの登場でIT業界は激変しました。利用したいときに利用した分だけ費用を払うことで、高性能なサーバーを低価格で利用可能になりました。月額500円以下で提供されているような最低性能のレンタルサーバーと同じかそれ以下の費用で、世界最高レベルの性能を誇るインフラストラクチャーでウェブサイトを配信できます。

もちろん使用するのはクラウド技術だけではありません。ウェブサイト制作にまつわる様々な新しい技術を吸収し続け、それを業務に生かしていく努力をしていくことがウェブサイト制作会社には求められています。



エンジニア職は、個人やチームの能力の差が、生産性の差になって現れやすい職業です。優秀なエンジニアチームは、平凡なチームに比べて何百倍も生産性が高いといった調査結果（State of DevOps Report）もあります。クラウドに限らず、新しい技術を吸収し続けているチームと、そうでないチームの生産性の格差はどんどん拡大しています。仕事を依頼する側にとっても良いエンジニアチームかどうかを見極めることが、とても重要になっています。

大きな買い物だからこそ賢い判断を

ウェブサイトの制作費は、数万円～数百万円、物によっては1千万を超えるものまであります。制作するものや、制作方法によって100倍以上の開きがでできます。購入する側も賢く見極めないと、無用の長物を作ってしまったたり、安物買いの銭失い状態になったり、粗悪品を高額で購入してしまったたり、といったことが起こってしまいます。

何にコストがかかるのかをしっかりと把握したうえで、無駄なものを作らないよう、メリハリをつけた予算配分の意識をもっていただくために、C-TIMEは、何にどの程度のコストがかかるのかを明示して、製作工程に透明性を持たせています。また、ウェブサイト制作の専門家として、最新の技術事情の把握に努め、製作プロセスの最適化

や、人材の育成を継続していくことにもC-TIMEはこだわっています。あたりまえのことのように聞こえるかもしれませんが、結果的にそれがC-TIMEの大きな強みになっており、より高品質なウェブサイトを、より低価格でお客様へお届けすることに繋がっています。

ウェブサイトならではのデザイン制作を。



ウェブサイトならではの良いデザインとは？

ウェブデザインとはウェブサイトのデザインをする仕事です。ポスターをデザインすることとも、パッケージをデザインすることとも異なります。ウェブデザイナーを名乗るからには、ウェブサイト固有の特徴に対する深い理解が必要だとC-TIMEは考えています。

C-TIMEはウェブサイトのデザインには、他の媒体とはことなる特性、デザインするうえででの難しさがいくつかあると考えています。情報量がとても多い、表示する画面のサイズが無数に存在する、システムによる更新で情報が増えたり減ったりする、といったような特性です。

良いウェブデザインとは、見た目が美しいことはもちろんのことながら、このような特性を理解して考慮し、以下のような特徴を持っているものであると、C-TIMEは考えています。

- 情報をわかりやすく整理し、必要な情報を見つけやすく読みやすいこと
- パソコン、スマホ、タブレットなど、様々な画面サイズでみても美しいこと
- 更新を重ねていっても、美しさや統一感が損なわれないこと
- 制作のコストが予算内に収まるように考慮されていること

必要な情報を見つけやすく読みやすいこと

ポスター、ショップカード、パッケージ、看板などの他の様々な媒体と比べても、ウェブサイトは圧倒的に多くの情報を持っていることがほとんどです。この大量の情報をどう整理して、読む人にわかりやすく伝えるか、ということがとても重要となります。

様々な画面サイズでみても破綻していないこと

ウェブサイトは見る人が利用する環境によって様々な画面サイズに表示されることになります。代表的な画面サイズだけでなく、画面の伸縮まで考慮してデザインを作成する必要があります。

更新を重ねても美しさや統一感が損なわれないこと

ウェブサイトは印刷物などとはことなり、何度でも更新を重ねていくことができると

いうメリットがあります。しかし、更新を重ねることで、最初の制作完了の時点で最適化されていたデザインが崩れ、美しさや、統一感が損なわれてしまうリスクがあるというデメリットもあります。将来的な変更までみとおして、おかしくならないことを意識して作成することが重要です。

制作コストが予算内に収まるように考慮されていること

ウェブサイトは完成するまでにコーディングという工程をふむ必要があります。そして、コーディング工程の工数は、全体の工数のなかでかなり大きな部分を占めることになります。デザイナーが作ったデザイン次第で、その後のコーディング工程の工数が、数倍変わってしまうことすらありえます。ウェブデザイナーはウェブサイト制作の全体工程をみわたしたうえで、予算内、スケジュール内に完了できるデザインを検討しなければなりません。

テンプレートで実現する高品質、低価格なオリジナルサイト

C-TIMEでは、ロングライフ・ウェブサイトファクトリー（工場）として、そんな機能面での美しさをもったウェブサイトを実現するためにC-TIME社内での標準制作のプロセスを定め、改善を続けています。そのひとつが、ワイヤーフレームのテンプレート化です。

コラム

ウェブサイトならではのデザイン制作を。



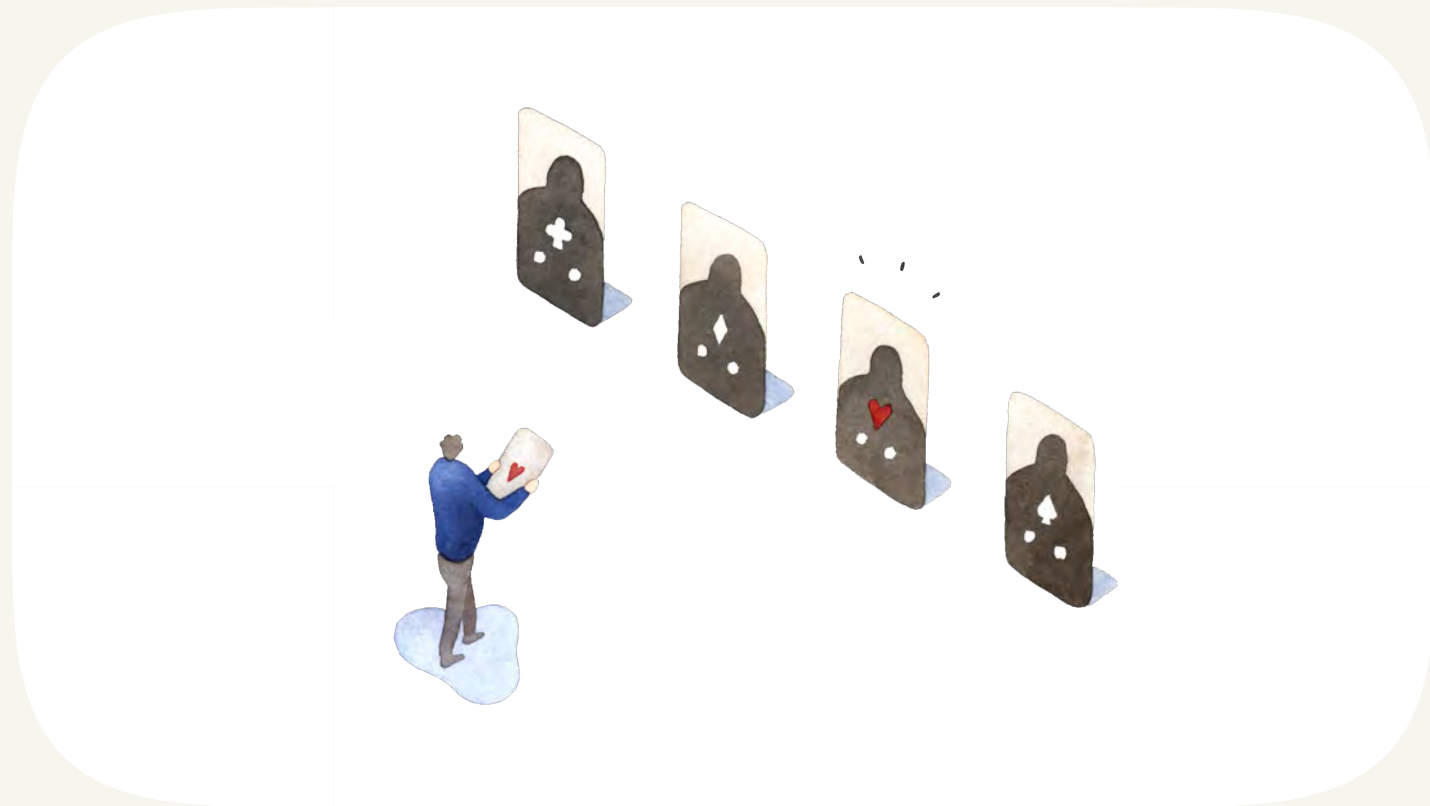
ウェブサイトならではの機能美を備える

C-TIMEのウェブデザイン部門が目指すのは、アートとしての美しさではありません。長く使えるロングライフ・ウェブサイトのデザインにふさわしい「情報が整然と整理され」「多様な画面サイズで美しく表示され」「更新されても美しさが損なわれず」「予算内に作りきれる」といった機能面での美しさをもったウェブデザインです。

C-TIMEのテンプレートを利用したウェブサイト制作は、よく言われるテンプレート制作とは異なります。テンプレート制作といえども、再利用するのはワイヤーフレームです。カラーリングを施したり、写真やイラストで装飾したりといった部分はそれぞれの案件ごとに行いますので、見た目は世界で一つのオリジナルサイトとして仕上がります。

これが、整然として読みやすく、スマホでもPCでも美しく表示され、更新を続けても崩れないといった機能美を備えたウェブサイトを低コストで制作できる秘訣となっています。

相性の良いデザイナーに出会う。



お餅屋さんのウェブサイトはお餅好きのデザイナーへ

ウェブサイト制作会社を選ぶときに、気になることの一つは「この会社に頼んで、きれいなウェブサイトは作れるのだろうか」ということかと思います。C-TIMEへお問い合わせをいただくときにも「〇〇業のウェブサイト制作をしたことはありますか？」であったり「デザインの実績を見せてください」という質問がもっとも多いです。多くのお客様は、自分の仕事に理解があるひとに仕事を任せたいと考えられているように思います。

実はこれは制作側も同じです。自分がよく理解している商品やサービスについてのウェブサイトはいつも以上に良いものが作れますし、しかも熱意をもって作ることが

できます。これは制作をするデザイナーが、ウェブサイトを見る人の立場でものを考えやすいからで、お客様のやりたいことと、デザイナーのアイデアがかけ合わせり、どんどんデザインが進化していく場面を何度も目にしてきました。

C-TIMEは、「餅は餅屋」という言葉が好きな会社です。お餅屋さんのウェブサイトはお餅好きのデザイナーが作ったほうが良いものができるに決まっている、と考えています。そのため、社外のデザイナーと手を組み、デザイナーさんが制作したクリエイティブを、C-TIMEがロングライフ・ウェブサイトに仕上げていくという制作スタイルに積極的に取り組んでいます。

餅は餅屋の分業を支えるチームづくり

“餅は餅屋”のコンセプトはC-TIMEの中でも根付いています。デザインが得意な人はデザイナー、コーディングが得意な人はコーダー、ディレクションが得意な人はディレクターといった具合です。それぞれの専門的な領域で、得意な人が得意なことを担当することで、一番良いものが作れると考えています。

分業制は実は簡単ではありません。専門家同士がお互いの仕事について理解をして、協力をしないと、プロジェクトが混乱、破綻してしまいます。C-TIMEでは社内で行う普段の製作から分業制を敷いているため、お互いにどのようなことに注意してプロジェクトを進めなければならないかを考え、失敗からも学びながらプロセスやガイドラインを整備していています。そのため、いざ外部の人にプロジェクトに参加いただくことになったとしても、多くの場合は問題なく参加いただくことができます。

クリエイティブパートナーと共に

C-TIMEでは、クリエイティブパートナーを募集しています。ウェブデザインを得意とされている個人事業主様、法人様と一緒に、一つでも多くのロングライフ・ウェブサイトを制作していきたいと考えています。

お客様からご紹介いただくのも大歓迎です。ロングライフ・ウェブサイトを構築したいが、デザインはこの人をお願いしたい、というようなご要望も承っております。

ウェブサイトは見えないところが大切。



ウェブサイトにはどんな人がどれだけ来るかがわからない

ウェブサイトはいつでもだれでも世界中から見られる場所にあります。どれだけの数の人がどれだけ訪問してくるのかわかりません。

せっかくウェブサイトを訪れてくれたお客様をがっかりさせないために、ウェブサイトの基礎・インフラストラクチャで大事なのは、「予想外の数の人が来ても遅くならないこと」と「いたずら攻撃に強いこと（セキュリティが強いこと）」です。

予想を超える数の人が来ても表示は速く

多くの人にとって、ウェブサイトへのアクセスは多ければ多いほどうれしいものはずです。ウェブサイトを同時に見られる人の数は、サーバーの性能によって変わります。

例えば、あなたのお店がテレビで紹介されたとき、放送と同時に多くの方があなたのウェブサイトを検索し、訪問してきます。もし、ウェブサイトの基礎であるサーバーの能力が貧弱だと、せっかく多くの人に来ていただいても、ウェブサイトが遅くなり表示されず、ビジネスチャンスを逃してしまう、といったことが起こります。

ウェブサイトを公開するために使うサーバーは、そのウェブサイトを訪れる人の数に応じて、しっかりとした性能のものを利用する必要があります。

いたずらや攻撃は避けられないのでしっかり守る

「うちのサイトは大丈夫だろう」と思うかもしれませんが、ほとんど100%の確率でウェブサイトは攻撃に合います。実際に、C-TIMEが運用を支援しているウェブサイトのアクセス状況を見ていると、例外なく全てのサイトに、攻撃を試みたようなアクセス記録が残っています。うちのサイトは小さいし、重要な情報もないから、狙われることはないだろうと思うのは間違いです。全てのサイトは必ず攻撃されるという前提で守りを固める必要があります。



攻撃のなかで数が多いのは、WordPressの管理画面を探して、パスワードを破ろうとするような動きです。システム保守の知識がない人は、WordPressをウェブサイトに使ってはいけません。WordPressをウェブサイトを使うということは、「ここに、攻撃したら面白そうなのがありますよ」と世界中に宣言しているようなものです。実際に、このサイトがWordPressを利用しているかどうかを判定するようなツールも出回っています。WordPressを使うのであればシステム保守ができる業者を探して、かならず保守契約を結び、定期的なセキュリティアップデートを実行してください。

安心して安全な基礎・構造こそが運用成功のカギ

ウェブサイトを作るのは簡単です。ですが、持ち続けるのは難しい。ウェブサイトを訪れるお客様に、どんなコンテンツを届けるかを考えることに集中するために、サーバーの安定性やセキュリティのことに悩まされないように作ることがとても大切です。

コラム

ウェブサイトは見えないところが大切。

C-TIMEが作るロングライフ・ウェブサイトは同時に数万人の人が訪れても大丈夫な強固なContent Delivery Network（CDN）を用いて、静的サイトの形で配信されます。安定性はもちろん強力なセキュリティーを兼ね備えたデザインになっています。

ウェブサイトは公開してからが本番です。



ウェブサイトを成果につなげるために

ウェブサイトを制作するとき、それぞれに達成したいことがあるかと思います。お問い合わせ数を増やしたい、来店数を増やしたい、売上をあげたいなどの目標です。ウェブサイトの公開は、その目標に向かって第一歩目を踏み出したということになります。

公開後にやらなければならないことは大きく三つです。

- ウェブサイトへお客様を呼び込む
- ウェブサイトでのお客様の様子を観察する
- ウェブサイトを改善する

これらを繰り返すことで、ウェブサイトがあなたの事業の成果に繋がってくるようになります。

ウェブサイトへお客様を呼ぶ

まず、ウェブサイトを作っただけでは誰もウェブサイトを見に来ません。「SEOを行って検索して来てもらう」というような戦略を聞きますが、作りたてのサイトがいきなり人気キーワードの1ページめに入るなどという虫のいい話はありません。

コンテンツを更新しFacebookやTwitterなどで拡散する、広告を利用する、お店でチラシを巻く、Google My Businessを活用するなど、あの手この手をつかってまずはウェブサイトを見てもらう努力をする必要があります。

ウェブサイトでのお客様の様子を観察する

ウェブサイトには、「アクセス解析ツール」を仕込むことができます。ウェブサイトを訪れた人が、どのような行動を取ったのかを分析できるツールです。Google Analyticsが有名で実質的なスタンダードになっています。

ウェブサイトを改善する

ウェブサイトでのお客様の様子がわかったら、次は改善です。お客様に期待通りの行動をしていただくために、何を改善すればよいか考え、ウェブサイトを改善していきます。

コンテンツを追加したり、配置を変えたり、いらないものを削除したり、改善を積み重ねていくことで、成果を高めていくことにつながります。

C-TIMEの公開後の運用サポート

C-TIMEは、この「お客様を呼び込む」「様子を観察する」「改善する」の繰り返しをサポートする運用サービスを提供しています。C-TIMEが持つ知識を駆使して、お客様に伴走し、一緒になって考え、お客様のビジネスの成長をささえていきます。

C-TIMEの運用サービスの利用は、ウェブサイト運営のプロフェッショナルをアルバイトとして採用して仕事を依頼する感覚に似ているかと思います。C-TIMEが担当するお仕事の範囲は「C-TIMEが制作したウェブサイトの改善に関連することすべて」です。C-TIMEの技術で対応できるあらゆる業務を担当させていただきます。

技術力に自信があることはもちろんながら、あたりまえに壊れない、あたりまえに低コスト、あたりまえに変更しやすいロングライフ・ウェブサイトを構築できているからこそ提供できるサービスです。

ウェブサイトは公開してからが本番です。

経営者であればだれでも固定費を安くしたいという思いがあります。ウェブサイト制作をやっている、「保守費用は払いたくない」というお客様は多いです。何をやっているかよくわからないものにお金は払いたくないというのは当然かと思えます。



ですが、実はこれがスキルの低いウェブサイト制作会社がはびこる原因の一つになっています。実は、保守サービスは、トラブル対応力に自信がないと請け負うことができません。しっかりとした保守を求められるお客様に対しては、制作サービスすら提供できない会社は多数存在します。逆に言うと「保守費用は払いたくない」というお客様に対しては、自分たちの技術力の低さを隠したまま仕事ができ、トラブル発生時にも責任を免れることができるのです。まさに、その一言をいうだけで、安物買いの銭失いが起こってしまう可能性がたかまる危険ワードなのです。